

報道関係各位

2017年5月吉日
学校法人 東京国際大学

NASAの技術を用いて誕生した希少楽器が奏でる、優美な音色を堪能

世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者 グレゴリー・セドフによる 「ピッコロ・ヴァイオリンコンサート in 東京国際大学」開催

日時：2017年6月7日（水）開場 12:30 開演 13:10(終演 14:40 予定)
場所：東京国際大学 第1キャンパス大講堂（埼玉県川越市的場北 1-13-1）

学校法人東京国際大学（東京都新宿区 理事長・総長：倉田 信靖）は、世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者で、本学特命教授でもあるグレゴリー・セドフによる「ピッコロ・ヴァイオリンコンサート in 東京国際大学」を、2017年6月7日（水）に第1キャンパス大講堂にて開催いたします。入場無料で、事前申し込み不要。一般の方々も自由にご来場いただけます。

ピッコロ・ヴァイオリンは、世界的に著名なヴァイオリン製作者で音響物理学者のC.ハッチンス博士が、30年以上の年月をかけて開発し、1995年に完成させた、新しいヴァイオリン属の楽器です。NASAの技術により実現した0.178ミリの弦を使用することで、通常のヴァイオリンの1オクターブ高い音に調弦できます。セドフ氏は1995年にピッコロ・ヴァイオリンに出会い、以後、世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者として活躍しています。また2011年には本学の特命教授に就任し、これまでも構内の大講堂にて、学生や一般の方々に向けた無料コンサートを開催しています。

－ 開催概要 －

タイトル：グレゴリー・セドフ「ピッコロ・ヴァイオリンコンサート in 東京国際大学」

演奏者：グレゴリー・セドフ（東京国際大学特命教授）

伴奏者：ユーリー・コジエバートフ

日時：2017年6月7日（水）開場 12:30 開演 13:10（終演 14:40 予定）

会場：東京国際大学 第1キャンパス大講堂（埼玉県川越市的場北 1-13-1）

アクセス：東武東上線「霞ヶ関」駅下車 南口徒歩約5分/JR川越線「的場」駅下車 徒歩約13分

対象：一般

参加費：無料

申込み：不要

主催：東京国際大学

（演奏予定曲目）J.マズネ：タイースの瞑想曲/S.プロコフィエフ：ロミオとジュリエットより モンタギュー家とキャピュレット家／

P.I.チャイコフスキー：「子供のアルバム」より ナポリの歌作品 39-18／

P.I.チャイコフスキー：バレエ「白鳥の湖」より (1)入場と黒鳥のアダージョ (2)ロシアの踊り／

I.カールマン：オペレッタ「サーカスの女王」より/シャルル＝オーギュスト・ド・ベリオ：ヴァイオリン協奏曲（第9番イ短調作品 104）



【グレゴリー・セドフ プロフィール】

1952年生まれ。ロシア国家芸術文化発展功労賞受賞音楽家。世界初のピッコロ・ヴァイオリン奏者。サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団桂冠ヴァイオリニスト。国際コンクール出場者の特別専門教師資格を保有し、サンクトペテルブルク国立音楽院他で教鞭をとる。グラミー賞 3部門でセミファイナル受賞。2010年に皇后陛下にご鑑賞頂く。2011年、本学特命教授に就任。

本件に関するお問合せ先

学校法人東京国際大学 企画広報1課（担当：森山、和泉澤、松本）

TEL：049-233-2681 FAX：049-232-3300 Email: kouhou@tiu.ac.jp

※ご取材頂ける場合は、お手数ですが事前にご連絡頂けますよう、お願いいたします。